

『創立30周年を迎えて』

平成元年5月に、社協のボランティア講座を受講した数名で「このまま終了では勿体ない。何か出来ないか」ということで発足したのが在宅介護問題研究会 泉の会でした。

初めは在宅介護に関する講演会、映画会、写真展などを企画し、住民に在宅での介護の大変さや、いつまでも住み慣れた自宅で暮らしたいという思いをアピールしました。

平成12年の介護保険が制定されるまで、ボランティアで介護ホームを実施し、自宅で介護している方のお手伝いをしました。

平成12年から NPO 法人格をとり、デイサービスの保険事業に取り組み、保険外ではいつでも対応出来るショートステイ、通えなくなった方の入居へと広まりました。

25周年を記念して、東京の特別養護老人ホームの石飛医師にお願いして「平穏死という選択」と題して講演会を清水マリナートにて、650名という盛大な催しを開くことが出来ました。今ここに30周年を迎えましたが、「在宅で暮らすより施設へ」という傾向が強くなったように思いますが、元気な時間を長く保つよう生き生きサロン「寄ってっ亭」を利用してもらっています。

29年8月より、子ども達も月2回の集まり「こどもっ家」で地域の大人達と交流し、学校では味わえない活動を楽しむようになりました。

30年の長い間、多勢の方々に力添えしていただき活動してこられたこと、紙面を借りて感謝致します。今後、福祉がどのように進むかわかりませんが、自分達の出来ることに精進し、課題に取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

(泉の会 会長 藤下品子)

『こどもっ家』



令和元年の新学期を迎え、新しい友達も参加し元気いっぱいみんな
なで楽しく活動しています。卓球・ボッチャ・晴れている日は、近くの追
分公園でドッチボールをしたり、鬼ごっこをしたりしています。

3年目を迎え、大きい子が小さい子のお世話をしたり、食事の片づ
けを進んでしたり、成長を感じます。5年生の女の子が、近所の3年
生の女の子のことを心配して「こどもっ家」に誘ってくれたことはとても
嬉しいことでした。大人も気がつかなかったことに、気づき、行動して
くれたことは素晴らしいことです。

子どもは、集団生活を通して思い
やりの心が育ち、みんなで助け合
う力が身についていきます。「こども
っ家」がその成長の助けになっている
と感じます。



こどもの笑顔で大人も笑顔に！



腹話術のふくちゃんが来てくれました



主任児童委員として、未就園児の親子と「子育てトークの会」で活動していますが、地域の小学生と関われる場として、「こどもっ家」の活動を大切にしていきたいです。中学生もボランティアスタッフとして参加してくれると嬉しいです。



筆で新年号「令和」を書きました

ボランティアスタッフには、色々な特技を持った人がいて、習字や将棋を教えてもらったりしています。「令和」とみんなを書いて額縁に入れました。今度、将棋が好きな4年生の男の子が、ボランティアの助手となり、みんなに教える会をやります。勉強を優しくわかりやすく教えてくれるボランティアもいます。

また、保護者の方達が、日頃の子育ての喜びや苦勞を話せる場としても役立っていると感じています。主任児童委員として、子ども達や保護者の皆様の声を学校に伝えていきたいと思えます。



追分公園で元気にかけっこ！

かつて子ども会活動が盛んに行われ、隣近所で助け合い生活していた頃のように、地域の子ども達を地域の大人達が協力して育てていく場として「こどもっ家」がこれからも発展していくことを願っています。是非一度参加してみてください。

(主任児童委員 渡部恵美子)

『デイににゃんこがやって来た☆アニマルセラピー☆』

令和が明け、大型連休がやっと終わった5月9日。デイスタッフ自宅のガレージで生まれたばかり(1週間目くらい!?)の猫が飼い主を求めてやって来ました。

猫好きの会長が、自宅に引き取ってくれることとなり、たちまちデイのアイドルに!!5月にしては異例の猛暑にぐったり気味の利用者さん方が、赤ちゃん猫会いたさに早めに通ってきてくださいます。メキメキ元気になられ、笑い声がたくさん聞こえるようになりました。



新しいスタッフに心が和みます

命名 わこちゃん。メス猫です。

朝8時過ぎ、会長宅よりデイに出勤！
8:30～16:00 まで利用者さん達と一緒に過ごします。

にゃんこの力は偉大です！スタッフ間のギスギスイライラも緩和され、日々癒やされています。

(看護師 坪井芳美)



通所利用者
入居者
大募集！

編集後記★

令和となり、新スタッフも加わって益々元気な「わたしのうち」です！

住所 〒424-0841 静岡市清水区追分 3-5-17

電話番号: 054-367-2878

FAX: 054-367-2884

発行責任者 藤下 品子
三浦 香織